



たんぽぽの綿毛がいろんな場所に飛んでたくさんの活動がひろがるといいね!

「機関紙たんぽぽ」は、かわさき生活クラブ生協の組合員に向けて、かわさき生活クラブがあなたに「今」伝えたい情報をお伝えする機関紙です。

かわさき生活クラブは、食・環境・平和・福祉など様々な運動をすすめ、暮らしやすい地域をつくっていく生協です。生活クラブ神奈川では、共同購入事業を5つの地域生協に分けて、より地域密着型ですめています。かわさき生活クラブには8つのcommons(班・個配を利用する組合員組織)と3つのデポ(店舗型に所属する組合員組織)があり、13,000人の組合員がいます。顔の見える関係でさまざまな活動を行っていますので、近くで開催される企画にご参加くださいね!



特集

💡

生活クラブでんきで サステイナブルな未来をつくろう!

CONTENTS

- 1~3 特集:生活クラブでんきでサステイナブルな未来をつくろう!
- 4~5 総代会報告
- 6 かわさきの生産者紹介/牛乳コラム /私たち組合員のパートナー W.Co
- 7 レポート/理事会報告
- 8 インフォメーション/申込み書

あなたはどちらの未来を選びますか?

世界中で、熱波や洪水、台風、干ばつ、火事などの災害が頻発しています。

人間活動による温室効果ガスの排出によって、地球上の温度が上がり続けています。

この地球上に、気候変動の壊滅的影響から無傷でいられる場所はありません。

気温の上昇は、食料不安、水不足、経済の混乱、紛争を助長しています。

海面は上昇を続け、北極氷原は融解し、サンゴ礁は死滅へ向かい、海洋の酸性化が進み、森林は山火事で失われています。



私たちが暮らす川崎市は、政令指定都市で最も多くの温室効果ガスを排出しているのはご存知ですか?

川崎市も気温の上昇が続いており、真夏日・猛暑日・熱帯夜の日数も増えています。

ゲリラ豪雨や台風、大雪など、極端な気象によって、今後益々日常生活に支障が出るのが懸念されています。

大人たちは 何でそんなに他人事なの? 僕らこのままじゃ生きていけなくなっちゃうのに……

私たちが"選択できる最後の世代"です

～気候危機は平和の危機。健康に気遣って食べ物は選ぶのに、エネルギーは選ばなくて良いの?～



家庭から出る温室効果ガス・CO₂の約7割は電気由来です。夏は猛暑による熱中症対策に冷房が欠かせず電気の使用量がグッと増える時期でもあります。

あなたのご家庭ではどんな電気を使っていますか? 生活クラブでんきは生活クラブ組合員が共同購入できる消費材の1つ。総電力量の約88%(2021年度実績)が再生可能エネルギー由来です。2030年の再エネ100%実現をめざし日本各地の生産者と提携をすすめており、家庭からのCO₂排出量を大きく減らすことができます。再エネ100%プランもあります。

CO₂ 排出を減らして、サステイナブルな未来を子どもたちに手渡すために、生活クラブでんきに切り替えましょう!





＼わたし、切り替えました！／ 「生活クラブでんき」にどうして変えたの？！

脱炭素への第一歩は、日頃の小さな節電！

そして、再エネを利用している生活クラブでんきに切り替えることも大きな効果があります。電力自由化から7年、でんきの切り替え率は20%を超え、生活クラブでんきの契約者も18,000件を超えましたが、まだまだ切り替えに不安な方も多いようです。生活クラブでんきに切り替えた方、お二人にインタビューしました。

柿崎さん（かわさきコモンズ 加入1年）

再生可能エネルギーに切り替えをしたきっかけは？



漠然と「変えなければな」と思い続けていたのですが、コモンズ大会に検針票を持ってきたら「タラーめんプレゼント」の企画がきっかけでした。切り替えがこんなに簡単にできるなんて、今まで知りませんでした！

変えることに何か不安はありました？



何が不安かもわからない状況で食べるものは安全なものを選べけれど、でんきのことを考えたことはありませんでした。でんきにも生産者がいることを初めて知りました。でんきの送電線は電力会社によって別だと思っていたのですが、供給の形も変わらないのですね！だから電気が不安定になったり、止まるリスクは東電と変わらないのですね。

皆さんが不安に思うことは、似ていますね。ご家族の反応はありました？



夫も、原発問題は気になるけれど自分に何ができるかわからないと言っていました。でんきを変えることが、世の中をかえることに繋がることを話すと、自信をもって切り替えができました。もともとは限りある資源だから、使いすぎないことが大切ですね。必要以上に使わない努力をしていきたいです。

三ツ橋さん（たかつデポ 加入半年）

切り替える前は、なにが気になっていましたか？



『再生可能エネルギーを選べるってどう言う事だろう？』というところから疑問でした。お話を聞いて、真剣に考えていることに感動したし、自分にできることからやろう！って思っただけです。

実際に切り替えした理由はなんですか？



CO₂削減につながる事や原発に頼らない生活ができることです！電気を使うにしても、何か世の中に貢献出来ないかなと思っていました！なので、生活クラブでんきに切り替えることが未来にイイと分かってすぐに決めました！

切り替える際に、電気料金で気になったことはありますか？



東京電力と基本同じ料金体系だと聞いて変わらないのだと安心しました！

切り替えて今のお気持ちを聞かせてください。



少しは世の中の役に立ててるかなと嬉しい気持ちです！友人にも是非切り替えて！ってすすめています。

電気ミニコラム



グローバルヒバクシャについて

1 『グローバルヒバクシャ』って知ってる？

原子力発電には燃料のウランが必要です。そのウラン採掘場の周りには被爆の被害者がいるのです。日本が原発を使い続ける限り、グローバルヒバクシャを生み続けてしまうことになります。



2 書かれていない電気料金のヒミツ

電気料金に必ず含まれる「託送料金」という送電網にかかる費用の中に、実は、福島原発事故の廃炉円滑負担金と賠償負担金が入っています。ビックリ！知っていましたか？

3 太陽光パネル、大丈夫？

生活クラブでんきのパネルは中国産ですが、人権問題のあるウイグル自治区産ではないことを確認しています。国の法律でリサイクル費用の積立を行っており、廃棄まで責任を持って行うことを「生活クラブエネルギー7原則」で掲げています。

みんなで作る

2022年4月、麻生区にオープンした複合拠点「るーむら麻生」。おおぜいの組合員・関係者・団体の寄付で、屋根に自家消費型の太陽光発電システム※を設置することができました。※自家消費型太陽光発電：発電した電力を太陽光パネルを設置している施設で使用するもの。



生活クラブ
でんき

今、再生可能エネルギーを選ぼう！

みんなで作る、
つかう、つなぐ。



みんなで作なく

福島県の会津電力や飯舘電力、秋田県にかほ市の生活クラブ風車「夢風」など、現地を訪問したり、オンラインの交流会を開催したり、生産者と組合員をつなぐ機会を設けています。顔の見える生産者から再生可能エネルギーの電気を購入することは、発電地域のまちづくりにもつながっています。

みんなで作かう

かわさき生活クラブ組合員約1万3千人のうち、628人(4.8%)の人が生活クラブでんきを使っています。スイッチングによるCO₂排出削減量は凡そ628t。例えるならば、川崎市内の全公園の1/10相当(71.3ha)※が針葉樹の森になったのと同程度、CO₂を削減できた計算になります。

※36~40年生のスギ人工林1ヘクタールが1年間に吸収する二酸化炭素の量を8.8tとして計算
参考：林野庁HP「森林はどのぐらいの量の二酸化炭素を吸収しているの？」



2012年に建設した生活クラブ風車「夢風」



るーむら麻生のエントランスに設置された
発電量モニターと記念パネル

サステイナブルな未来を子どもたちに残すために、私たちにできること

もっと市内に再生可能発電所を つくろう！

生活クラブエネルギー事業連合、生活クラブ神奈川とも連携して、川崎市内で再生可能エネルギーの発電所を増やすための調査研究活動をすすめていきます。

もっとおおぜいの仲間 つかおう！

SDGsのゴール年でもある2030年が気候危機対策のタイムリミットとされています。毎年1%の組合員のスイッチング(でんきの切り替え)実現に向けてみんなで共感をひろげる活動をすすめていきましょう！

もっと身近な生産者とも つながろう！

市内で市民の手による再生エネルギー普及を進めているNPO法人 原発ゼロ市民共同かわさき発電所は、生活クラブでんきの生産者でもあります。生産者見学交流会を開催してみませんか？

め切迫る！(8月末まで)

でんきのスイッチング応援キャンペーン実施中

- 生活クラブ加入2か月以内の方限定
- スイッチングで1000円キャッシュバック
- 8月末までにスイッチングした全員に
- エコなグッズをプレゼント
- スイッチングしたい組合員を紹介してくれた方にもステッカーをプレゼント

この機会にぜひ生活クラブでんきに
スイッチングしてくださいね!!



新たに参加された方にはドイツで最も権威のある環境保護専門誌ÖKO-TEST(エコテスト)誌で、最高評価を獲得した、SIGGのトラベラーボトルなどエコで素敵なグッズを1点プレゼントします♥

キャンペーンのお問い合わせ
はこちら(Googleフォーム)



ぼくたちの
未来のために
選んでくれて
ありがとう!



第20回 かわさき生活クラブ生協通常総代会 開催報告

審議事項
 第1号議案 2022年度活動・事業報告、第2号議案 2022年度事業報告書・決算関係書類の承認、2022年度監査報告、
 第3号議案 2023年度活動方針・事業計画の決定、第4号議案 2023年度予算の決定、
 第5号議案 役員報酬限度額の決定、第6号議案 第19回通常総代会特別アピール



かわさき生活クラブ生活協同組合第20回通常総代会を6月2日(金)高津センターにて開催しました。総代総数200人中、実出席162名、代理委任14名、書面議決1名の参加で全議案が承認されました。

2022年度 活動・事業報告 基本テーマ:自在な活動から運動をひろげ、自ら暮らしたい地域づくりをすすめよう

かわさきローカルSDGs

地域での活動を中心とした、暮らしたい地域社会づくりを目指し「ローカルSDGsマルシェ」を掲げ、市内各地でまつりなどへ積極的に出展しました。生活クラブの生活全般に渡る活動を、FECWをテーマとして、一体での発信強化をすすめました。他団体との連携、新たなアソシエーションなど、活動がひろがり、組合員数は1万3千人を超えました。

2030行動計画の実行

生活クラブの消費材の共同購入や様々な取組みが、今の気候危機や食糧危機などの社会問題への対策にもつながること、そのために組合員一人ひとりが自分で選択して参加することが大事であるという理解を作り共感につながるよう、メッセージを強め自ら考え行動する人を増やしました。

新規フォロー対策

コロナ禍で新規フォロー活動が停滞したと想定される2020年4月以降に加入した新規組合員を対象に、米・でんき・ハグくみの取組みを伝え、加入を引き出すアンケートを実施しました。新規組合員と各組織とのつながりづくりの策として、回答内容をフィードバックする手紙付きで各組織から回答プレゼントを渡す活動も実施しました。年間を通じて世帯利用が低かった課題を受け、「仲間づくりは共感づくり」を言葉に、事務局・組合員の連携で新規フォローを重層的に展開していけるよう2023年度の対策をすすめていきます。

参加と協同の力

各組織で主体的な活動を多様に展開しました。具体的な結果(数)につながる共感づくりを課題として、21世紀の学校 Vision発信力UP伴走講座を活用し、運動性のメッセージ力を高める広報

戦略の策定に取組みました。2023年度、新規加入者に伝わる広報・機関紙づくりをすすめます。

仲間づくり

「出会う・対話する・つながる」を軸として、共感をつくり仲間を増やす場を多様につくりました。生活クラブを道具に生き生きと新たな活動を展開しているところでも活動する仲間づくりが確実にひろがりました。

協働と連携

脱炭素アクションみぞのくち推進会議、川崎市SDGsパートナープラットフォーム分科会などに参画し、エコシティかわさきフェス他ローカルSDGsマルシェの出展を豊富化しました。

<<重点政策>>

利用結集の実感を得る活動をすすめ、共同購入運動をひろげます

食の自給圏づくりのメインテーマとして通年で米の予約共同購入を呼びかけました。庄内遊佐消費地交流会、食糧危機をテーマにした秋の活動スタート集会、ご飯のおともコンテスト等を通じ、各組織で様々な米の共感づくりの活動がすすみました。酪農危機を受け、酪農応援緊急カンパ・牛乳の利用結集を呼び掛ける“未来を明るくミルクビジョン”の活動を展開しました。2019年度比100%の利用結集に向け、2023年度も活動を継続します。

社会課題の解決策、生活の向上となる共同購入運動をひろげていくために、誰もが参加できるしくみづくりに取組みました。7月から高津センター1階で生活クラブステーション宮崎台の実験取組みを開始しました。リニューアル拡大目標の達成、運営委員会の形成を以て10月にのぼりとデポールのリニューアルオープンを迎えました。

脱炭素社会の実現にむけ、

おおぜいの参加でアクションをすすめます
 環境省から脱炭素先行地域にも選定された溝口地区を中心に他団体と連携をひろげ出展を強化しました。環境課題について、大人も子どもも楽しみながらつくり学べる創作体験ワークショップを市内各地で開催しました。環境保全・食の安全や健康保持につながる農(緑)の価値を、よりひろげる活動に取組みました。向丘農産物流通組合の畑で体験農園や縁農を実施し、生産者と意見交換を行いました。川崎市に学校給食での地場野菜の利用強化・学校でのゲノム編集トマト苗の不栽培を求める市民政策提案書を出しました。

多様性を認め合い、

たすけあえる地域づくりをすすめます

共済は、おたがいさまのたすけあいの仕組み、協同組合の原点です。生活クラブ共済ハグくみ拡大を事務局と連携を強めて推進しました。

4月になるむら麻生がオープンしました。「たすけとと言えるまち・たすけてと言えないところに気づけるまちづくり」の活動を推進しました。

かわさき子ども食堂ネットワークとの新たな連携活動として、11月から高津センター倉庫を中継倉庫とする取組みを実験的に開始しました。

地域で働く人を増やし、

豊かな地域コミュニティづくりをすすめます
 地域のたすけあい推進力を高め、たすけあえるネットワークづくりの推進をめざし、生活クラブ神奈川全体方針を受け、地域たすけあいコーディネーターを創出しました。

地域で働くことの価値を伝え共感を高め、W.Co運動をひろげる活動を継続的に取組みました。

■拡大実績(2022年4月～2023年3月)

	組合員数			期首伸張率(%)	計画達成率(%)	
	期首	加入-脱退	期末		加入	拡大
班個配	8,760	148	8,879	101.4	106.6	39.7
デポー	4,070	131	4,154	102.1	112.1	124.8
合計	12,830	279	13,033	101.6	108.1	58.4

■供給実績(2022年4月～2023年3月)

	供給高(万円)	前年比(%)	計画比(%)	世帯当利用高(円)	前年比(%)	計画比(%)
デポー	77,545	93.8	98.1	16,186	90.3	108.1
合計	358,421	92.6	106.8	23,578	90.3	108.1

■剰余金処分案 I. 当期末処分剰余金75,926,477円 II. 次期繰越金 75,926,477円

2023年度 活動・事業方針

基本テーマ:おおぜいの私で二歩前へ。暮らし続けたいまち・かわさきを共に創ろう

活動の基本:なかまづくりは共感づくり

私たちは、共同購入を通じ、協同の力で持続可能な未来を創る一歩を踏み出している仲間です。普段使っているお気に入りの消費材や仕組みを周りに発信するもう一歩が共感をひろげます。おおぜいの「私」が発信することで、周囲の人の行動変容をもたらし、仲間が増え、社会を変える力になります。

活動の重点

全世界で達成をめざすSDGs、ゴール年の2030年にありたい姿を描き、各組織の活動活性化を通じて生活クラブの事業と運動をすすめるローカルSDGsの活動を多様に展開します。

★地域エリア構想:組合員活動の旗振り役である各運営委員会のコーディネートで組合員活動を活性化するため、各組織の自立と連携をすすめます。地域資源(人や拠点)×活動テーマから活動活性化・組織基盤強化に向けエリア連絡会を定期開催します。

★居場所・アソシエーションづくり:地域たすけあいコーディネーターと連携し、組合員同士の関係性を高める活動の活性化をすすめます。

★農あるまちづくり:生産者・地域団体と連携し、市内産農産物の地産地消への共感づくり、利用強化の活動をすすめます。学校給食をテーマとした調査・研究活動に取組みます。2024年の全国都市緑化かわさきフェアも活用し、内外の連携・発信を強化し、活動活性化に繋がります。

★市民政策提案:緑・農・地産地消などのテーマ

「出会う・対話する・つながる」を軸に、夏の組合員集会・年末予約活動を山場に、ビジョンフード、生活クラブでんき、生活クラブ共済ハグくみを重点消費材として、おおぜいで対話し、利用する仲間づくりにつなげます。

おおぜいの私で二歩前へ出ること、一人では解決できない課題を解決につなげていける力になることを実感できる活動・発信を展開します。

で活動を継続し、発見した課題を市民政策提案へ繋げます。食の安全・生物多様性への懸念からゲノム編集食品への反対運動を継続します。

共同購入方針

私たちの消費する力が、生産者とともに食の未来をつくります。食料危機の懸念が高まっている今、国内自給力の向上や生態系を守り、食の安全性を追求し、次世代の子どもたちが安心して健康に暮らしていく社会をめざすビジョンをもって利用するビジョンフードへの理解と共感づくりに重点的に取組みます。

1.共同購入に参加する仲間を増やします
<組合員拡大>柱を組合員紹介とし、組合員紹介を引き出す取組みをすすめます。

2.消費材に共感し、利用する人を増やします
<利用結集>新規加入者への働きかけを重点に適切なタイミングで丁寧なフォローが行えるよう組み立てを検討します。

Food(食・農):ビジョンフード(米、牛乳、鶏卵、畜肉、青果物)予約に参加する人を増やします。
・米予約率目標:2022年度比3%アップ
・牛乳利用重量目標:2019年度比100%

Energy&Ecology(エネルギー・環境):脱原発・脱炭素、再生可能エネルギー推進に向け、生活クラブでんきの加入者を増やします。
・生活クラブでんき加入目標:131件

Care(たすけあい・ケア):おたがいさまのたすけあいへの共感をひろげ、組合員・事務局・W.Coの連携で生活クラブ共済ハグくみの加入者を増やします。
・生活クラブ共済ハグくみ加入目標:372件

5.共同購入のさらなる発展に取組みます

- 1)生活クラブステーション実験取組み
- 2)新規デポー建設構想
- 3)共同購入配食事業の実験取組
- 4)神奈川県野菜セットの実験取組

組織活動方針

1.組織運営

地域に暮らす人々が多様な分野において地域課題を解決するには協同する力が重要です。組合員の直接参加をつくる8コモンズ3デポーの自立した活動を多様化・豊富化します。

1)仲間づくり:各地域で、地域課題・ニーズから組合員活動を多様に創出します。かわさきのまちでFEC自給圏をつくりひろげるかわさきローカルをテーマに仲間づくりにつなげます。

(1)組合員拡大の柱は組合員紹介とし、人と人との出会いをつくりつなぐネットワークづくりの両輪ですすめます

(2)新規加入者フォローを強化します

(3)各組織の主体性を発揮し自主運営/自主管理をすすめます

2)共育

全ての活動を共育の場と捉え、自ら考え行動する人を地域におおぜいにしていく共育をすすめます。新規加入者への共育は丁寧にすすめます。対話を軸に参加型の組織づくり、組織基盤強化に繋がります。

3)広報

広報=運動と捉え、かわさき生活クラブ機関紙たんぼぼを中心に、かわさき生活クラブの運動への理解・共感、想いを届ける発信をすすめます。

2.専門委員会活動

1)消費委員会

私たちが将来にわたり安心して食べ続けていくためには「消費材を選んで食べる利用結集」と「食べる仲間を増やしていく仲間づくり」が大切です。生産者との交流や学習を通じて、消費材の価値を語る組合員を増やし、ビジョンフードを1つでも予約購入する人をおおぜいにする活動をすすめます。

2)共済たすけあい委員会

た→たくさんの力を集め
す→住み暮らす地域と人を結び
け→ケアが豊かになることを目指し
あ→「あったらいいな」を実現していこう
い→いつも「おたがいさま」が活きる地域へ!

組合員相互の『お互いさまのたすけあいの気持ち』を基本に生活クラブが作ってきた様々なたすけあいの仕組みを、多くの組合員の理解と共感をつくりながら、深め広めていきます。

3)環境平和委員会

Think globally act from KAWASAKI

かわさきから世界へ
地球規模で考えながら、足元の川崎から行動しよう
地球温暖化が加速し、異常気象が起きています。組合員1%の目標を持ち原発に頼らない再生可能エネルギー、生活クラブでんきへのスイッチングを進めます。ウクライナ侵略の収束は未だ見えず、平和が当たり前ではなくなっています。非戦・共生について考える活動をひろげます。

特別アピール “おおぜいのわたし”で、二歩前へ 今だからこそ、生活クラブを使って共に楽しもう

今、困ってることはありますか?川崎市は住み暮らしやすいでしょうか?生活クラブは暮らしをよくするためにある道具です。もし、あなたが生活クラブを使いこなして楽しく幸せな暮らしをしていたり、共に美味しいね・楽しいね・助け合おうと言える仲間がいるならば、それは幸運でかけがえないものなのでしょう。

昨今の社会には、さまざまな危機が迫っています。特に深刻なのは、気候危機が悪化し、食料危機まで引き起こしていることです。環境や生物、人権をも犠牲にし、経済ばかりを優先した大量生産・大量消費・大量廃棄という現代の暮らしぶりは、わたしたちの家計をも圧迫しています。その上、人間同士が武器で争う戦争によって、さらに私たちの暮らしが脅かされています。これらは全て、人が起こした問題です。人が起こしたものは、人が解決するのが道理だと思いませんか。

解決するのに必要となるのは、共に対話し、互いを認め合うこと。そして、何かの誰かの犠牲の上に立たず、自然と全ての生命と共生しながら、自分たちに必要なものは自分たちで自給するチカラではないでしょうか。私たち生活クラブは、対話を積み重ね、50年前からその自給するチカラを育ててきました。利益追求しない協同組合という仕組みをベースに、共同購入運動を基軸として、社会を変える運動のパートナーである地域の生産者やワーカーズ・コレクティブと共に、持続可能で平和な社会をめざして一石を投げ続けてきました。

一見、大きくて人ごとに見える社会の問題も、私たちの暮らしの積み重ねで起きているのだから、まずは私たち自身が今より一歩、暮らしを変え

ることから、社会の変化が始まると思いませんか?“わたし”が変わると暮らしが変わり、“おおぜいのわたし”が変わると社会が変わります。

生活クラブに加入し消費材を使うことで、私たちはすでに社会を変える大きな一歩を踏み出しています。「二歩前になる」とは、何か周りの人へ小さなアクションを起こすことです。例えば今、あなたの隣にいる組合員は、どんな消費材が好きで、どう使って楽しんでいるのでしょうか?また、その好きな消費材には生産者がどんな想いを込めて作っている物語があるのかを、知っていますか?互いに話せば楽しくなって、そこから、たくさんの新しい二歩目が始まります。

日々消費材を使い、組合員や地域の仲間と交流し、生活クラブにあるたくさんの仕組みを使いこなすと、暮らしを豊かにするヒントや共感し合える喜びが得られて、“わたし”の暮らしがどんどん楽しく、心地よく、豊かになります。そんな“わたし”がおおぜいに増えることが、食・エネルギー・ケア・働く場を地域内で自給・循環させ、持続可能で平和な社会をつくることにつながっていきます。

生活クラブ生活協同組合は、お金では買えない信頼と共感によって成り立っています。仲間づくりは共感づくり。共に感じることで、仲間になります。そんな信頼と共感を積み重ねていくことで、私たちの社会も安心して暮らせるように変わります。

今だからこそ、楽しんで二歩前へ出たくなる“わたし”をおおぜいにして、ワクワクするかわさきのまち、平和で持続可能な暮らしをみんなで創っていきましょう♪

*議決の本旨に反しない範囲での字句修正は理事会に一任します。

主な質問・意見 ☺ その他いただいたご意見は今後の活動に反映していきます。

Q1(2022年秋にスタートしたデポーリブランディングの)「参加型の『スーパーマーケット』」という表現は、なぜ使われることになったのか。デポーは生活クラブ生協(非営利)の共同購入の荷捌き所、スーパーは営利を目的する企業の店舗であり、根本的に違うと考える。

➡コモンズ組合員ですら入りづらいという意見もあるデポーに未加入者来所をどうつくるかを課題として、連合会全44デポーのリブランディングを行った。社会的な認知として、生鮮食料品を扱う店舗を表すのに「コンビニ」でも「デパート」でもなし、「スーパー」が一番イメージしやすいのでは、ということで採用した。「子どもたちの未来をつくるスーパー・生活クラブデポー」という一連のキャッチコピーで、他のスーパーとの差別化を狙った。2022年5~6月の理事会討議、組織委員会を経てかわさき全体で取組んでいる。組合員への説明不足は理事会の失策と捉え、今後説明会を計画したい。なお、リブランディングは2カ年の施策であり、2022年度の間点検ではデポー全体が加入・利用共に伸びている状況にあることから、2023年度も継続することを決定している。

Q2エコ共済・生活と自治は任意だということを新規加入者だけに説明し

既存組合員に説明しないのはおかしいのではないかと。

➡なぜそれに取組むかをしっかり説明し、納得して利用できるようにすることが重要。Q1のデポーリブランディングも未加入者来所の間口をひろげる施策に過ぎず、デポーとはどういう場所なのか、なぜ必要なのか、組合員活動でしっかり伝えていくことが必要と考える。

Q3生活クラブステーションの現状はどうなっているのか。

➡在籍者数は8月の100人近くをピークに4月末現在54名、世帯当利用高は6千円弱とコモンズ・デポーと比べかなり低い状況である。新たな拠点として、活動の広がりを作り、拡大・利用を広げていきたい。

Q42022年度は脱退が多いが、分析はされているのか。

➡昨年度脱退者のうち、転居20%、世帯人数の減少12%、システムが合わない9.3%、価格が高い5.9%、曜日が合わない4.8%、消費材の魅力がないが2.3%、残りはその他で詳細不明。ステーションの脱退数は37名で、その外に個配への移籍もある。脱退理由はシステムが合わない13.5%、受け取りが面倒10%。脱退対策には消費材の魅力を伝えていく新規フォロー活動が必要であり、2023年度年間テーマとして対策をすすめていく。

理事の

暑い時期に楽しんでいます！

『コーヒーゼリードリンク』

牛乳コラム



コーヒーは豆から淹れてもインスタントでも簡単に作っても買ったものでもなんでもOK！コーヒー、クリスタルゼラチン好みで砂糖でコーヒーゼリーを準備して、それをコップに入れて好みで練乳を入れて牛乳を入れたら出来上がり。練乳を入れる場合は先に練乳を溶かす用にちょっとだけ牛乳を入れて混ぜてからたっぷり牛乳を入れるとgood!!
とっても簡単で夏場におすすめのドリンクです♥ (のぼりとデポー 假屋恵子)



わたしのまちの
生産者紹介

特定非営利活動法人

原発ゼロ市民共同かわさき発電所

高津コモンズ環境平和委員長でもある、
同法人副理事長の加藤伸子さんに伺いました！



中原区の1号機前にて
設立メンバーと一緒に

東日本大震災で放射能汚染された震災がれきの広域処理政策に反対運動を行い阻止することができました。この活動から、市民でも何かできる！と実感をした加藤さんは、活動を共にした川岸卓哉弁護士（かわさき発電所・現理事長）の「市民発電所をつくりたい。脱原発のためには反対するだけではなく、再生可能エネルギーを増やす必要がある」という考えに共感し、川崎で市民発電所を共につくることを決意。学習会を重ね設立に至り、デモなどで繋がった方々からの屋根貸しが決まり、資金を集め、1号機から4号機へと次々に発電所をつくりました。

「電力は絶対必要なのだから」と、誰かの命、健康を犠牲にしなければ成り立たないような文化生活であるならば、その文化生活こそ問い直さなければいけない。地域でエネルギーを自給できれば、地域に雇用が生まれ、地域にお金が行くようになり、地域経済の活性化につながる。そんな社会のあり方を実現させるために「原発ゼロ市民共同かわさき発電所」が設立しました。そして生活クラブでんきの生産者となって私たち組合員が使う電気を供給しています。加藤さんは「お金で買えないものは人のつながり」という言葉を実感していると話します。多くの人に伝え、共感をつくり、共に再生可能エネルギーをひろげていくこと、生活クラブでんきを使うことでより良い未来は実現できます。



私たち組合員のパートナー

W.Co (ワーカーズ・コレクティブ)

ワーカーズ・コレクティブは働く人の協同組合。
雇う・雇われる関係ではなく、メンバー全員が出資し、協同して働き、運営に参加します。地域の課題を解決し住み暮らしやすい豊かな地域社会づくりをめざしています。



川井由香里さん

W.coキャリアの配達のお仕事は、トラックの点検から始まり、荷物の積み込みをしてから出発します。安全運転で省エネ走行を意識しています！キャリアのメンバーは全員組合員なので、配達をしながら「最近ずっとグリーンピースが欠品ですね」や「これ美味しかったから食べてみて」など、組合員さんとお互いに情報交換をしています。つい最近では、生活クラブでんきの話から食に対する考え方や家族の事など30分も

世間話をしてきました。新しく組合員になった方にはカタログや袋はリサイクル、瓶に「R」マークが付いているものはリユースしていることや、使用済みてんぷら油も回収している事を伝えています。貯めずに毎週出してもらえると嬉しいです。私は生活クラブの資源循環や人との関わりを大切に考えるのが好きでこの仕事をしています。子供が体調を崩してしまい、急なお休みの時も、メンバーみんなで代わり合いながら配達をしています。

W.coキャリア

(tel・045-363-5053)

生活クラブが好きな方 ♥
人と接するのが好きな方 ♪
一緒にお仕事してみませんか？
ご連絡、お待ちしております。

15 W.Co DAY
毎月15日は行こう！ワーカーズデー

働きたいと思ったら毎月15日は行こう！
W.Coデー開催中！
こちらのフォームから一括で川崎市周辺の複数の
W.Coにご連絡いただけます。



食べて・飲んで・聞いて・遊んで・体感してもらおう▼

4/29 30 ローカルSDGsマルシェ

場所:高津区橘公園
参加数:16団体
300名以上



かわさき生活クラブが主催して地域の組合員みんなで開催しているこのマルシェ。3回目となった今回も多くの方で賑わいました。はるばる遠くから来た生産者の語る消費材ストーリーを聞いて感動したり、美味しい！と味わったり。地域の組合員同士が出会って仲良くなったり。また川崎市建設緑政局とのご縁も強くなり、地域をあげてマルシェを盛り上げることができました。遊びに来た地域の方からも「こんな楽しいお祭りはもっと周りに知らせたい」と好評いただきました！地域をつなげて、みんなの未来をちょこっと豊かにするための「ローカルSDGsマルシェ」。みなさんも次(秋予定)は遊びに来てくださいね♪(福本)

5/15

新生酪農(株)生産者交流会

場所: 高津センター&るーむら麻生(サブ会場)
参加者: 62名(オンライン併用)
生産者: 新生酪農(株)千葉工場 岩瀬尚哉さん



3年ぶりによやく対面で生産者交流会ができました。生産者から酪農家の現状、厳しい危機が話され、世界の食料事情はクアトロショック(コロナ禍、中国の爆買い、異常気象、ウクライナ紛争)という危機に見舞われていることも再認識して、その現実に愕然としました。酪農家が直面している困難に私たちは何ができるのか?どうすればいいのか?生活クラブは牛乳から始まった生協です。飲み続けていく、守っていく、それを大事にしていくことを心に刻みました。組合員の市場調査結果の報告と感想、コモンズ・デポーでの組合員活動計画の発表もあり、共感もできました。市販品と飲み比べは、私たちの牛乳がどんなに優れているかも実感できました。みんなの心が燃えてきた瞬間を大切にしたいと思う、有意義な交流会でした。さあ、これからです!苦悩する酪農家へ思いをはせながら、おおぜいの力の結集で共同購入をすすめていきましょう。(熊谷)



2651筆の署名を手渡してきました
NON-GM・NONゲノム編集食品の活動

ゲノム編集トマト開発企業による学校への苗の無償提供の動きを捉え、昨年12月に川崎市に対し苗を受け取らないことを求め市民政策提案書を提出。市からの回答を受け、学校での苗の栽培に加え、食材として使用しないことを求める署名を集め、5/16(火)に川崎市教育委員会事務局健康給食推進室と意見交換を行ってきました。

苗を栽培しないよう小学校へ指導し、判別がつく限りゲノム編集食品を扱うことに反対の意向だが、ノックアウトという種類のゲノム編集食品は表示義務がなく、避けると明言できないのが現状とお話でした。

3月にはゲノム編集食品で4例目となるワキシートウモロコシの届け出がありました。加熱するともちもちとした食感が出るのが特徴で、粉末状のコーンスターチにして、食品の増粘剤などで使うとのこと。表示がなければ見分けることができず、食べたくなくても知らぬ間に口に入ってしまう可能性が高まっています。国に対して、全てのゲノム編集食品の表示義務化を求める活動を継続していくことの必要性を改めて感じました。(野村)

6/10 11

子どもたちの未来をつくる
エコシティかわさきフェス2023



場所: eM/PARK(6/10)
溝ノ口劇場(6/11)

1日目は脱炭素をテーマにSDGsにつながるワークショップやスタンプラリーを開催し、約370名の来場があり、多くの参加者に環境への気付きができました。

2日目は「できる-セ・ポシブル」の映画上映会と「Z世代のめざす気候正義」をテーマにトークセッションを行いました。映画では、自分が何をどう選択して行動していくのかを改めて考えさせられました。Z世代の方々からの、大人世代が声をあげ、私たちと共に行動してほしい。という力強い言葉に、心を動かされました。

地域の活動団体、行政や企業も含め、多くの方々の協力で開催でき、地域との連携がさらに広がりました。(永野)

理事会報告

5月定例 監事会:2022監査報告▼討議決定:総代会議案書▼報告承認:夏の組合員集会(出資金在高集会)実施計画、デポーキャンペーン神奈川共通実施策/かわさき活動方針、消費材コラボ開発「おやつまみ」企画、スマートな保険の考え方講座開催計画、理事会研修事前活動計画、居場所アソシエーション(継続)、農あるまちづくり・有機給食推進活動計画、キララ賞推薦活動・交流会実施計画、ユニオンの業務提携に伴い発生する費用に関する覚書締結、他

5月臨時 報告承認:2023理事会運営体制の一部変更
6月定例 監事会:2023監査の重点項目、ガバナンス調査報告▼討議決定:夏の組合員集会(出資金在高集会)の組立て▼報告承認:監査指摘事項への対応、班個配 神奈川地場野菜セット実験取組、ヒロシマ代表派遣計画、新規アソシエーション登録・居場所をテーマとしたアソシエーション支援基金助成申請、キララ賞交流会開催計画、GX脱炭素電源法案の撤回を求める意見書の提出、復興まつり2023開催計画、全国オーガニック給食協議会への参加、他

組織報告

	組合員数 期首(4月)	組合員数 5月末	世帯当たり利用高 5月末
班	693	692	31,885
個配	8,186	8,239	28,140
デポー	4,154	4,146	13,894
合計	13,033	13,077	23,812



参加費
無料

3回連続企画
『生活クラブのお肉を学ぼう』

- 9/11 (月) 鶏肉学習会 (秋川牧園)
- 9/26 (火) 豚肉学習会 (平田牧場)
- 10/13 (金) 牛肉学習会 (北海道チクレン)

会場：高津センター 時間：10:00~12:00

3年ぶりのリアル開催で、生活クラブのお肉の生産者に会える！
直接会って聞ける生産者の本音やおすすめの理由、生産現場の現状を知れるチャンス！市販との違いを知って、お肉の美味しい食べ方が解る！！はじめての参加でも楽しく学べます。
(託児あり、要事前申し込み)

9月デビュー消費材
『いりこのおやつまみ』



消費委員会では、組合員からあつめた声で新しい消費材の開発や消費材の改善を行っています。この度、たかつデポー消費委員会が泰山食品商行と「いりこのおやつまみ」を開発しました。いりこ、いり大豆、焼き昆布のカリカリ食感にこだわり、子どもから大人まで安心して食べられる健康的なおやつです。(税込み397円) みんなで利用しましょう。

- 班・個配の方
初回注文(9月2回目)：9/11(月)~15日(金)
2回目注文(10月3回目)：10/16(月)~20日(金)
- デポー 入荷日：9/23(土)

おひさまフェス×星空上映会
inかわさき2023

日時：9/30(土) 13:00~19:00
※荒天中止

会場：ニヶ領せせらぎ館前の
多摩川河川敷

市民が作った再生可能エネルギーを使った音楽イベントと映画上映会。多摩川で地域がつながり、人がつながる。暮らしたい未来は自分たちで創ろう！！そんな思いを込めたお祭りです。

2011年3月の東日本大震災・原発事故を契機に、川崎を中心に活動する市民団体が集まり2015年に初開催。趣旨に賛同しかわさき生活クラブも初回から参加し、一緒に開催してきました。更に詳しい情報はこちら👉



地域で活動する若者を
ご紹介ください！

詳細はHPへ
エントリー締切
8/31(火)



地域で活躍する若者
(30代まで)
自薦・他薦は問わず



キララ賞とは？	神奈川県内で、環境・文化・福祉・国際交流など様々な分野で活躍している若者を応援することを目的に、毎年2団体の団体または個人に贈呈。
受賞すると？	副賞として50万円を贈呈。神奈川県知事の表敬訪問や、組合員との交流会を通じて地域社会に知らせるなどさらなる活動の発展を応援します。

ヒロシマ代表派遣報告会のお知らせ

かわさき生活クラブ組合員カンパで送り出した「ヒロシマ代表派遣」報告会と平和を考える交流会を開催します。ウクライナ問題の収束も見えない今だからこそ、平和についておおぜいが考え話し合う場をもちましょう。



日程と場所はこちらから👉

たんぼぼ187号 インフォメーション申込/内容についての連絡票

高津センター：かわさき生活クラブ理事会事務局行
矢向センター：かわさき生活クラブ担当行

(締め切りは開催日の1週間前まで)

- 9/11 (月) 鶏肉学習会
- 9/26 (火) 豚肉学習会
- 10/13 (金) 牛肉学習会

メール：Kawasaki.seikatsu.club@gmail.com
FAX:044-852-0680 または 配達便・デポー経由で提出してください

名前 _____ 電話 _____
コモンズ・デポー名 _____
mail _____
託児希望者・子どもの名前 _____ (歳)

●託児ありの企画は、高津センターで参加する方のみ可能です。
託児はエコロ共済加入者は無料です。(当日加入できます) 託児ルールは後ほどお送りします。